

## 令和5年度春期 ネットワークスペシャリスト試験合格発表 分析コメント

(株) アイテック IT人材教育研究部 2023,6,29

4月16日（日）に行われた令和5年度春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。IPAから発表された得点分布など統計データの分析をもとにして、ネットワークスペシャリスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

### ■ネットワークスペシャリスト試験（NW）

[令和5年度春期 ネットワークスペシャリスト試験 統計情報]

応募者	15,239人
受験者	10,395人
合格者	1,482人
合格率	14.3%

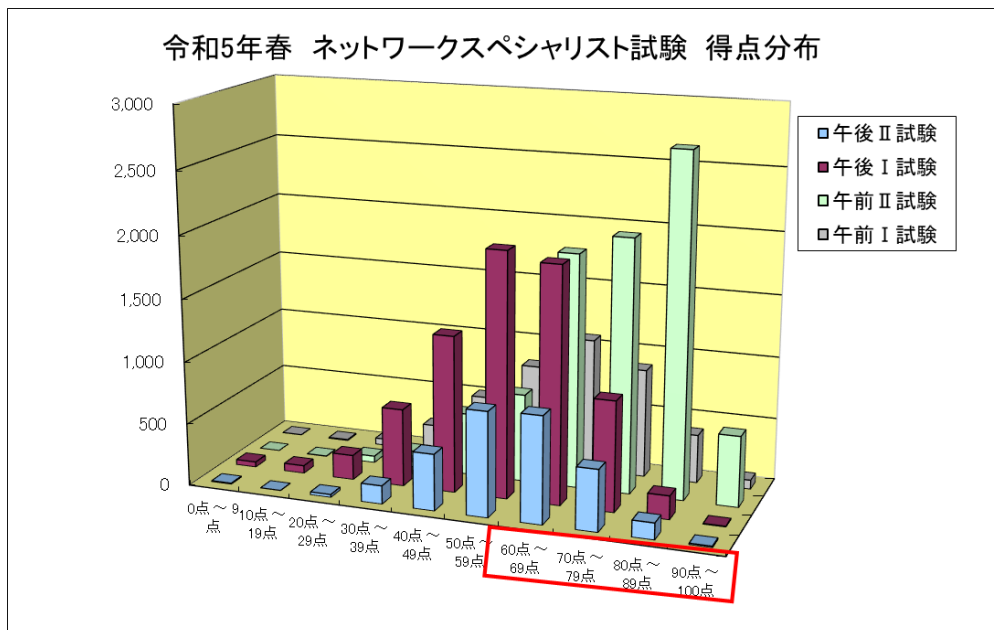
令和5年度春期のネットワークスペシャリスト試験の合格率は14.3%で、前回の17.4%に対して3%減少しましたが、平成21年以降の現在の試験制度になってからは平均に近い合格率です。なお、前回は最高の合格率でした。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[令和5年度春期 ネットワークスペシャリスト試験 スコア分布]

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	2	0	42	8	
10点～19点	8	3	62	2	
20点～29点	52	53	199	23	
30点～39点	221	137	623	147	
40点～49点	511	500	1,254	451	
50点～59点	813	707	1,956	835	
60点～69点	1,075	1,870	1,885	850	
70点～79点	874	2,026	881	489	
80点～89点	390	2,718	189	132	
90点～100点	73	567	6	11	
計	4,019	8,581	7,097	2,948	1,482
対前試験比率		213.5%	82.7%	41.5%	50.3%
午前Ⅰ免除者(概数)	6,376	61.3%			

合格者数	1,482	採点者数の割合	合格者数との差
午前Ⅰ60点以上合計	2,412	60.0%	930
午前Ⅱ60点以上合計	7,181	83.7%	5,699
午後Ⅰ60点以上合計	2,961	41.7%	1,479
午後Ⅱ60点以上合計	1,482	50.3%	0



午前I試験免除で受験する人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前I試験の免除者は概算で6,376人(61.3%)いて、約6割の受験者が午前IIからの受験となりました。ほぼこの比率で最近では推移しています。

次に午前I試験で基準点(60点)以上取れた人は2,412人(受験者の60.0%)で、前回の64.1%から少し減っています。問題自体は例年と比べて易しい部類に入るといえます。

午前II試験で基準点以上の人は7,181人(受験者の83.7%)となっており、こちらも前回の86.1%から微減です。

午後Iで基準点(60点)以上取れた人は41.7%で、前回の54.2%から10%以上減少しました。出題された3問のうち、2問がやや難問題だったことが影響したと思われます。

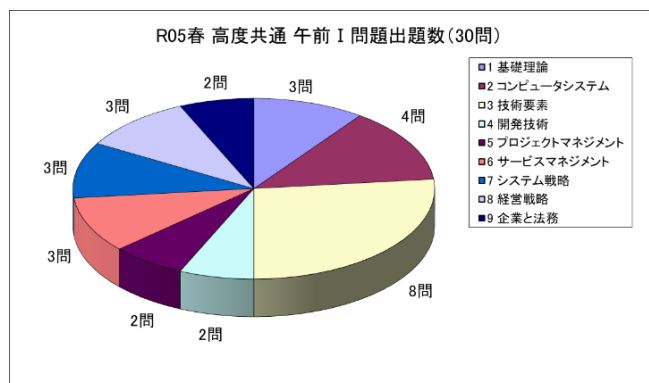
午後IIで基準点(60点)以上取れた人は50.3%で、こちらは前回の47.0%から微増です。

## ■令和5年度春期 ネットワークスペシャリスト試験の出題内容について

### (午前I試験 (高度試験の共通知識問題))

高度試験で共通して出される午前I試験の30問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験(AP)の午前試験80問の中から選ばれていて、テクノロジー系17問(57%) マネジメント系5問(17%) ストラテジ系8問(26%)という出題比率です。

午前I試験には免除制度がありますが、高度試験の4~5割の人が午前I試験から受験しています。この中で60点以上の得点で午前II試験の採点に進む人は5~6割で、出題範囲が広いため試験問題を難しく感じる人が結構多いといえます。問題が難しいときには4割程度の人しか通過できないときもありましたので、最初の試験でつまづかないように、早めに試験対策の学習を始め、確実に知識をつける必要があります。



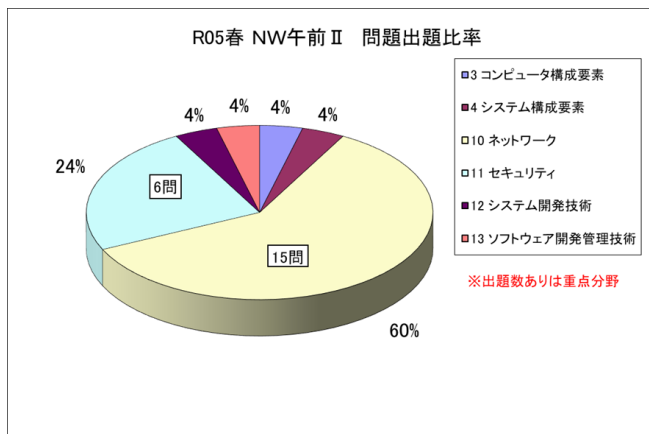
・今回の午前I試験の内容は、定番問題の過去問が多く、前回よりも解きやすいといえました。

- ・重点的に出題されるセキュリティ分野の出題数は前回と同じ4問で、最も多い出題数です。
- ・新傾向問題は3問で前回の6問から減っています。

### 〔午前Ⅱ試験（専門知識問題）〕

午前Ⅱ試験で、ネットワークとセキュリティの専門知識の出題数は15問と6問の合計21問で、前回と同じでした。新傾向問題は7問（前は5問）、過去問題は従来と同じで約7割弱ありましたが、新傾向問題も増えたことから、全体として前回よりも少し難しくなったといえます。

過去のネットワークスペシャリスト試験問題の出題は12問（前回と同じ）ありましたが、情報処理安全確保支援士試験の過去問題が2問ありました（前回4問あった）。



### 〔午後Ⅰ試験〕

今回の午後Ⅰ問題の概要として、前回試験で出題されたネットワークセキュリティの内容が少なかったといえます。問1のHTTP/2、問2のIGMPとPIM-SMの理解必要、問3の無線LANは久々の出題でした。問1と問2がやや難の問題でした。

他試験と比べて各問ごとの設問数が多めで、幅広く専門知識を理解する必要があります。

### 〔午後Ⅱ試験〕

今回の午後Ⅱ問題の概要として、問1（10ページ）はBGPの理解と、ネットワーク切替えの実務知識を理解している必要がある問題、問2（11ページ）はLBとSAML2.0の理解が必要な問題でした。

## ■より詳細な試験の分析・講評をYoutubeにて限定公開

今回より、詳細な試験の分析・講評をYoutubeにて公開（限定公開）いたします。

試験区分毎に分析・講評動画を作成しております。

お手数ではございますが、以下の手順にて動画をご確認ください。

1. 下記の視聴申込みフォームより、視聴される方の情報を入力ください
2. ご入力送信後、送信完了ページ内にて動画をご覧いただけます

※ご注意ください！

送信完了ページは一度閉じると戻ることができません。

直接リンク・ブックマークからも送信完了ページへ再度訪問することはできません。

Youtube側のURLを控えていただかないと再度フォームに情報を入力することになりますのでご注意ください。

<視聴申込み用フォーム>

<https://www.itec.co.jp/shiken-kohyo/>

<動画の内容について>

動画には主に以下の内容が収録されています。

- ・試験区分毎のトピックスや最新情報、試験制度などの概要
- ・直近試験の出題内容における新傾向問題や出題傾向、解答の流れを分析した解説
- ・次回試験に向けた対策とそのおすすめのアイテック教材のご紹介

さらに、試験区分によっては講師が実際に受験してみた感想もご紹介しております。継続的な学習や今後の試験対策に是非お役立てください。

